

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04030030

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	防災行政無線設備等保守点検委託事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	防災行政無線固定局の設置数		関係課	#N/A		
事業目標	33		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 災害対策基本法		
住民協働			関係個別計画名	有 雄武町地域防災計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	事業費(千円)	5,084	0	2,542	0	2,542	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	5,084		2,542		2,542	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,484	0	2,484	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,484		2,484			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		33局			33局
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	98%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
	全体達成率	0%	49%	49%	49%	49%	
	事業進捗状況		☆☆☆☆				

事業名	防災行政無線設備等保守点検委託事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係主査	小野 隆行

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防災行政無線固定局の設置数	
【抱える課題やニーズは】	地震、津波等の災害においては、海岸沿い集落を中心に大きな被害が想定される。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	津波の浸水被害等が想定される海岸沿い集落を中心に、災害情報を即時伝達できるように防災行政無線設備は常に正常に作動しなければならない。		① 防災行政無線固定局の設置数/保守点検局数	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	災害情報の即時伝達手段を整備し、町民の生命・財産を守る。	②	実績値 33局	達成度 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雄武町防災行政無線(同報系)設備保守点検一式	①防災無線設備試験(親局:1、中継局:2、子局:30)、②全国瞬時管理システム(Jアラート)設備試験、③海面潮位監視設備試験		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	災害発生時(特に津波)は、避難を開始するまでの時間がその後の結果に大きく影響することから、広範囲に即時情報伝達が可能となる防災行政無線は常に正常に作動する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	防災行政無線の点検により、各設備の正常な作動を確認できた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	防災行政無線の点検は、納入業者以外の管理による設備、システムの不具合を回避するため、(株)日立国際電気北海道支社との随意契約としたが、見積りを徹しコスト削減に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	防災行政無線は、地震、津波のみならず、他の風水害情報や選挙情報など広く町民の情報伝達手段として活用されており、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
防災行政無線の点検により、各設備の正常な作動を確認できた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
防災行政無線設備の定期点検を実施し、異常がある場合は修繕を行う。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止